様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施　策	①感染症対策の強化
			施策の小項目名	○各種予防接種の推進及び普及啓発活動を通じた接種率の向上
主な取組	予防接種の推進		対応する成果指標	結核罹患率（人口10万対）
施策の方向	・県内での感染症の発生予防及びまん延防止のため、予防接種法に基づいて実施される各種の予防接種を推進し、市町村と県民に向けた普及啓発活動を通じた接種率の向上に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
市町村向け予防接種従事者研修会の実施	県,市町村	接種率向上のための市町村支援等		
		予防接種従事者研修会の実施回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）

担当部課【連絡先】	保健医療介護部感染症対策課　【　098-866-2013　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	予防接種事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
県単等	直接実施	108	330

予算事業名	予防接種事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	560

令和5年度活動内容

令和５年11月に市町村担当者向け予防接種従事者研修会を実施した。

令和6年度活動計画

市町村担当者向け予防接種従事者研修会を実施する。

活動指標名	予防接種従事者研修会の実施回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		全市町村担当者向けに、予防接種制度の変更点や感染症の概要などを説明する予防接種従事者研修会をオンラインにより開催する。
	0回	0回	1回	１回（２回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送っていた研修会の再開により、市町村担当者向けに予防接種への意識向上が図られた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○ＷＥＢでの予防接種従事者研修会を開催する。	○ＷＥＢで予防接種従事者研修会を開催した。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	全市町村に予防接種率に係る取り組み等について、アンケートを実施する。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	予防接種率の特に高い市町村の取り組みのうち好事例について、全市町村に還元する。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施　策	①感染症対策の強化
			施策の小項目名	○結核のまん延防止
主な取組	結核対策		対応する成果指標	結核罹患率（人口10万対）
施策の方向	・結核を早期に発見し、確実に治療を行うことで、結核のまん延防止に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
結核患者の早期発見、治療完遂のための服薬支援体制	県	結核患者の早期発見、治療完遂のための服薬支援		
		前年に登録された全結核患者及び潜在性結核感染症の者に対するDOTS実施率		
		95%	95%	95%

担当部課【連絡先】	保健医療介護部感染症対策課　【　098-866-2013　】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/iryokenko/shippeikansensho/1005861/1018589/1006434.html

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	結核患者服薬支援地域連携事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
県単等	直接実施	2,185	4,757

予算事業名	結核患者服薬支援地域連携事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	4,832

令和5年度活動内容	令和6年度活動計画
地域DOTS（ドッツ）の推進、地域連携のための会議や研修会の実施。	地域DOTS（ドッツ）の推進、地域連携の会議や研修会の実施。

活動指標名	前年に登録された全結核患者及び潜在性結核感染症の者に対するDOTS実施率		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		・地域 DOTS 事業を全保健所で実施。 ・県内外の専門家の参加を得て、年に１回、沖縄県サーベイランス委員会を実施。 ・医療機関との連絡会議を行い、DOTS体制の強化を図っている。
	87.7%	82.4%	82.4%	95%	86.7%	概ね順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
・サーベイランス委員会では、各保健所からDOTS状況や事例の報告があり、結核業務の評価や検討ができる場となっている。 ・DOTS実施率は、過去５年のうち、新型コロナの影響を除けば90%以上で推移し、概ね順調と判断されている。（令和５年度は値が未確定のため、前年値を入力。毎年９月頃に確定。参考値として、H30年95.3%、R1年91.9%、R2年94.9%、R3年87.7%、R4年82.4%）

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○・各保健所において、結核担当を適切に配置する。 ・臨時的なDOTS人員を確保する。 ・外国人患者に対して、医療通訳を用いて、患者支援を行う。 ○・医療機関との会議で課題を検討し、地域支援者と連携してDOTS体制を構築する。 ○・医療者および高齢者施設関係者等へ普及啓発により、患者の早期発見・早期治療につなげる。 ・県民に対しての普及啓発活動（街頭キャンペーンやパネル展、広報誌等）を積極的に行う。	○DOTSについて ・各保健所において、DOTSを高い割合で実施した。 ・外国人患者に対して、医療通訳の利用までは至らなかったが、翻訳アプリや母国語で記載された結核のパンフレットやDOTSノートを使用を用いた患者支援を行った。 ○地域連携について ・医療機関との会議で課題を検討し、地域支援者と連携してDOTS体制を構築した。 ・医療者および高齢者施設関係者等へ普及啓発を行い、患者の早期発見・早期治療につなげた。 ・結核予防週間を含め、県民に対しての普及啓発活動（街頭キャンペーンやパネル展、広報誌等）を積極的に行った。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和４年の国の罹患率（人口10万対）は8.2であり、県の罹患率は8.4であった。国・県ともに前年と比べどちらも減少し、結核低まん延国の水準であるが、今後も継続した対策が必要である。
⑥ 他地域等の動向(外部環境の変化)	本県における患者の多くは高齢者であり、発見の遅れ、合併症等により支援が困難となっている。また、結核高蔓延国からの外国人患者が増加しており、高齢者と外国人対策が課題となっている。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	結核治療を担う医療機関やDOTSを実施している保健所との連携強化に努める。
⑤ 情報発信等の強化・改善	結核予防週間を含め、県民等に対しての普及啓発活動（街頭キャンペーンやパネル展、広報誌等）を積極的に行い、情報発信等の強化に努める。
⑤ 情報発信等の強化・改善	今年度、沖縄県結核予防計画の改訂を行い、高齢者対策と外国人対策を県の重点課題とし、結核を早期に発見し、確実に治療を行う取り組みを実施する。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施　策	①感染症対策の強化
			施策の小項目名	○新型インフルエンザ等の予防法やHIV検査の受検方法の周知広報
主な取組	感染症予防対策		対応する成果指標	結核罹患率（人口10万対）
施策の方向	・新型インフルエンザ等の予防法やHIV検査の受検方法の周知広報等に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
感染症の発生予防及びまん延防止のため、新型インフルエンザの発生に備え、予防策の啓発及び感染症医療体制整備の強化等を図る。さらに、HIV検査が受けやすい環境を整備し、感染予防のための啓発活動を行う。	県	新型インフルエンザ発生に備えた医療体制強化及びリーフレット等によるインフルエンザ・HIV等感染症の予防啓発及び検査普及の実施		
		HIV検査件数（年間あたりの検査実施可能数）（累計）		
		2,500件	2,500件（5,000件）	2,500件（7,500件）

担当部課【連絡先】	保健医療介護部感染症対策課　【　098-866-2013　】	関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/iryokenko/shippeikansensho/1005861/index.html

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	感染症指定医療機関運営補助事業費等		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
各省計上	補助	76,436	97,375

予算事業名	感染症指定医療機関運営補助事業費	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
各省計上	補助	88,336

令和5年度活動内容

感染症指定医療機関８機関および患者用入院医療機関等に対し、運営費や医療資器材整備補助を実施した。

令和6年度活動計画

感染症指定医療機関等に対し運営費や医療資器材整備を補助する。インフルエンザ感染予防啓発用ポスターを作成し、予防啓発に関する情報を発信する。

予算事業名	エイズ対策事業費、エイズ対策強化事業費		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
各省計上	直接実施	11,586	14,641

予算事業名	エイズ対策事業費、エイズ対策強化事業費	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
各省計上	直接実施	14,771

令和5年度活動内容

ホームページやリーフレット等による、感染予防啓発や検査案内等の情報発信をした。ＨＩＶ検査機会拡充のため、医療機関等への検査委託を実施した。

令和6年度活動計画

ホームページやリーフレット等による、感染予防啓発や検査案内等の情報を発信する。ＨＩＶ検査機会拡充のため、医療機関等への検査委託を実施する。

活動指標名	HIV検査件数（年間あたりの検査実施可能数）（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		新型インフルエンザ等の発生に備え、医療機関へ設備整備補助を行った。 新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた保健所検査は、令和４年12月からすべての保健所で再開したが、検査数の回復が遅れている。
	80件	622件	1,366件	2,500件（5,000件）	54.6%	大幅遅れ	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
新型インフルエンザ等患者入院医療機関、感染症外来協力医療機関への医療資器材の設備整備補助を行うことにより医療体制の整備強化につなげることができた。 保健所での検査の回復が遅れ、目標数より大幅に減少したが、令和４年度に続き医療機関によるHIV等検査を委託し、113件の検査を実施した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
毎年6月のHIV検査普及週間や12月の世界エイズデーに合わせ、通常の検査以外に時間外や休日の特例検査を実施することで検査数の回復を目指す。また、HIV委託検査の実施やHIV外来検査に対応できる医療機関の拡充を図る。 〇新型インフルエンザ等の感染症対策の現場である医療機関等に対し、実情に応じた運営費補助及び設備整備補助を行うことで、より費用対効果の大きな体制強化を図る。	HIV検査普及週間及び世界エイズデーに合わせ、保健所では特例検査の他、通常よりも検査件数を増やし実施した。HIV委託検査では、10月15日からの１か月間、５箇所の医療機関にて実施した。また、新たにHIV外来検査が実施できる医療機関として１箇所が追加された。 新型インフルエンザ等の感染症対策の現場である医療機関等に対し、医療資器材等導入のための設備整備補助を実施した。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	県内保健所でのHIV検査体制を新型コロナウイルス感染症流行以前までに回復させる。
⑦ その他(改善余地の検証等)	行政において、対策、体制の担い手となる医療機関の医療提供体制現場状況を詳細に把握することが難しい。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	毎年6月のHIV検査普及週間や、12月の世界エイズデーにあわせ、通常の検査以外に時間外や休日の特例検査を実施し、検査数の回復を目指す。また、HIV外来検査に対応できる医療機関の拡充を図る。
⑥ 変化に対応した取組の改善	新型インフルエンザ等の感染症対策の現場である医療機関等に対し、本事業の補助内容を共有、必要な補助について事業計画調整を行うことで、実情に応じた補助により費用対効果の大きな医療体制の強化を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施　策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○検査が受けられる体制を迅速に構築できる環境整備
主な取組	新興・再興感染症の流行に備えた検査体制の強化		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・感染症対策の重要な要素は各種検査の拡大であり、あらゆる感染症を想定し、検査が受けられる体制を迅速に構築できる環境整備に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
衛生環境研究所において新興・再興感染症の検査に備えるため、国立感染症研究所等による研修会に参加し、検査技術向上を図る。	県	検査技術向上のための人材育成		
		新興・再興感染症の検査技術に関する研修会への参加人数（累計）		
		3名	3名（6名）	3名（9名）

担当部課【連絡先】	保健医療介護部感染症対策課　【　098-866-2013　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	感染症発生動向調査		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
各省計上	直接実施	17,056	19,916

予算事業名	感染症発生動向調査	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
各省計上	直接実施	20,607

令和5年度活動内容

国立感染症研究所の希少診断技術研修会に６名が参加した。

令和6年度活動計画

国立感染症研究所の希少診断技術研修会に６名の参加を予定。

活動指標名	新興・再興感染症の検査技術に関する研修会への参加人数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	3名	6名	6名	３名（６名）	100.0%	順調	令和５年度はWeb形式による研修会だったため、検査担当職員６名すべてが参加可能であった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和５年度はWeb形式による研修会だったため、検査担当職員６名すべてが参加可能であった。

様式１（主な取組）

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
令和５年度はWeb形式になったことで、希望者すべてが参加可能であった。	希望者すべてが参加することにより、必要な検査技術等習得が可能であった。

３　取組の検証（Check）

類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	新興・再興感染症の検査に備えるため、積極的に国立感染症研究所等による研修会に参加し、検査技術向上を図る。

４　取組の改善案（Action）

類型	内容
① 執行体制の改善	研修参加に必要な旅費等を確保し、令和６年度も可能な範囲で研修に参加する。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施　策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○感染症専門医、感染管理認定看護師及び感染制御認定薬剤師の養成
主な取組	新興・再興感染症に対応する医師の質の向上		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・新興感染症等の拡大に備え、感染症専門医、感染管理認定看護師及び感染制御認定薬剤師の養成に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
令和5年度より国立感染症研究所が一部の協力自治体において研修を展開するFETP（実地疫学専門家養成コース）拠点が、沖縄県で本格運用することに伴い、沖縄県感染症研究センターと連携し人材育成を図る。	県	新興・再興感染症に対応する感染症専門医等の育成		
		研修の修了人数（累計）		
		2名	2名（4名）	2名（6名）

担当部課【連絡先】	保健医療介護部感染症対策課　【　098-866-2013　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	―

主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
国直轄	直接実施	―	―

予算事業名	―

R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
国直轄	直接実施	

令和5年度活動内容

実地疫学を学ぶため、研修の受講や「FIBAバスケットWC2023」強化サーベイランスの事前リスク評価、期間中の感染症情報の収集や解析をした。

令和6年度活動計画

実地疫学を学ぶため、研修の受講や県内での感染症発生事例について、情報の収集や解析をする。

活動指標名	研修の修了人数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和５年度はFETP拠点に１名の受講者が加わり、実地疫学を学ぶため、研修の受講やさまざまな場面における感染症情報の収集や解析をした。
	-名	2名	1名	２名（４名）	50.0%	概ね順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和５年度から受講者が１名追加され、令和４年度からの受講者２名と合わせ３名により、感染症発生事例について、情報の収集や解析が行われた。また令和５年度は世界的なスポーツイベントである「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」が県内で実施され、海外からの感染症侵入に備えた強化サーベイランスを行った。

（2）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
沖縄県感染症研究センターとの連携内容について方針を決定し、相互で有益な体制を構築する。	沖縄県感染症研究センターでは、FETP拠点と協同して強化サーベイランスを実施する等、連携して感染症発生事例について、情報の収集や解析を行う等情報共有を図ることができた。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	沖縄県感染症研究センターと引き続き連携内容について協議し、今後の方針を決める必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	沖縄県感染症研究センターとの連携内容について方針を決定し、相互で有益な体制を構築することで人材育成を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施　策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○感染症専門医、感染管理認定看護師及び感染制御認定薬剤師の養成
主な取組	新興・再興感染症に対応する薬剤師の質の向上		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・新興感染症等の拡大に備え、感染症専門医、感染管理認定看護師及び感染制御認定薬剤師の養成に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
新興・再興感染症に対応する薬剤師の質の向上に向けた感染制御薬剤師の育成を図る。	県,医療機関等	新興・再興感染症に対応する薬剤師の質の向上に向けた感染制御認定薬剤師の育成		
		研修への補助件数（累計）		
		3件	3件（6件）	3件（9件）

担当部課【連絡先】	保健医療介護部薬務生活衛生課　【　098-866-2055　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	認定薬剤師育成支援事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
県単等	補助	0	81

予算事業名	認定薬剤師育成支援事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	1,504

令和5年度活動内容

感染制御認定薬剤師の資格を取得するために必要な研修会へ参加する旅費に対し助成する予定であったが、研修会がＷＥＢ開催となり助成がなかった。

令和6年度活動計画

感染制御認定薬剤師の資格を取得するために必要な研修会へ参加する旅費等に対し助成する。

活動指標名	研修への補助件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		新興・再興感染症に対応する薬剤師の質の向上に向けた感染制御薬剤師の育成のため、資格取得に必要な研修会へ参加する旅費に対し助成する。
	0件	0件	0件	３件（６件）	0.0%	未着手	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナ等による影響のため、感染制御認定薬剤師の資格を取得するためにかかる研修会がＷＥＢ開催となり、研修会参加のために必要な旅費の助成がなかったため未着手とした。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
－	補助先である沖縄県薬剤師会と連携し、感染制御認定薬剤師の資格取得に必要な研修会への会員の積極的な参加を図る。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	新型コロナ等の影響により、研修会の開催方法が実地からＷＥＢへと変わっていることから、研修参加の旅費以外の助成が必要。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	研修に参加するための旅費の他、研修参加費についても助成を行う。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施　策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○感染症専門医、感染管理認定看護師及び感染制御認定薬剤師の養成
主な取組	新興・再興感染症に対応する看護の質の向上		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・新興感染症等の拡大に備え、感染症専門医、感染管理認定看護師及び感染制御認定薬剤師の養成に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いた、水準の高い看護を実践できる感染管理認定看護師等を育成し、県内の看護の質の向上を図る。	県,医療機関等	新興・再興感染症に対応する看護の質の向上に向けた感染管理認定看護師の育成		
		感染管理認定看護師養成数（累計）		
		5名	5名（10名）	5名（15名）

担当部課【連絡先】	保健医療介護部保健医療総務課　【　098-866-2169　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	認定看護師・特定行為研修支援事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
県単等	補助	26,162	43,150

予算事業名	認定看護師・特定行為研修支援事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	45,060

令和5年度活動内容

感染管理認定看護師養成課程を開講している沖縄県看護協会等に対し費用の一部を補助する。

令和6年度活動計画

認定看護師制度改正に伴う新たな教育課程開講のための準備費用の一部を補助する。

活動指標名	感染管理認定看護師養成数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	29名	20名	15名	５名（10名）	100.0%	順調	沖縄県看護協会が実施する感染管理認定看護師養成課程を開講するために必要な支援をした。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内において感染管理認定看護師養成課程を開講することで、安定した養成数を確保できた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○県内で感染管理認定看護師養成課程を開講している沖縄県看護協会と連携を図りながら、引き続き感染管理認定看護師養成に取り組む。	○県内で感染管理認定看護師養成課程を開講している沖縄県看護協会と連携を図り、補助金を交付することにより、感染管理認定看護師養成に取り組んだ。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	認定看護師制度について、令和３年度に特定行為研修を組み込んだ新たな教育課程が創設された。従来の教育課程については、令和８年度で終了することから、新たな教育課程への移行が求められている。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	沖縄県看護協会において令和８年度から新たな教育課程を開講するため、その準備に要する経費の一部を補助する。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施　策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○医療提供・検査体制の強化
主な取組	感染症法に基づき指定する第一種及び第二種感染症指定医療機関における感染症患者の病床確保の支援		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・感染症対応の最前線である医療現場においては、スタッフ、病床、機材等も含めて十分な体制が確立されなければならず、新興・再興感染症の流行に備えて、医療機関・医療従事者等への支援体制の強化、PCR検査体制の強化、医療資器材の確保など、医療提供・検査体制の強化に加え、感染隔離者の宿泊施設等の確保や病中・病後のメンタルケア、自宅療養者に対する健康管理並びに在宅医療及び症状変化時の医療機関受診・入院等の医療提供体制の確保に取り組むとともに、新興感染症の治療については、国の動向を踏まえ、新薬の投薬治療等を推進します。		

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
新型インフルエンザ等の感染症対策としての医療提供体制を確保するため、感染症指定医療機関の実情に応じた運営費等補助を行うことで、感染症医療提供体制の維持・強化を図る。	県,医療機関	感染症法に基づき指定した第一種及び第二種感染症指定医療機関の感染症患者のための病床確保支援		
		支援対象となる感染症指定医療機関数（内訳）		
		8医療機関	8医療機関（継続8医療機関）	8医療機関（継続8医療機関）

担当部課【連絡先】	保健医療介護部感染症対策課　【　098-866-2013　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	感染症指定医療機関運営補助事業費		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
各省計上	補助	0	18,065

予算事業名	感染症指定医療機関運営補助事業費	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
各省計上	補助	19,000

令和5年度活動内容

新型コロナウイルス感染症の病床確保補助事業終了後、感染症指定医療機関８機関に対し、運営費補助を実施した。

令和6年度活動計画

感染症指定医療機関８機関に対し、運営費補助を実施する。

活動指標名	支援対象となる感染症指定医療機関数（内訳）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		新型コロナウイルス感染症の病床確保補助事業終了後、感染症法等に基づく感染症指定医療機関８機関に対し、運営費補助を実施することで、感染症医療体制の確保および整備強化を行った。
	0医療機関	0医療機関	8医療機関	８医療機関（継続８医療機関）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内感染症指定医療機関全８機関に対して、医療現場の実情に合わせ運営にかかる補助を行うことにより、安定的な医療提供体制の維持および強化を図ることができた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○感染症法において一類、二類感染症に分別される感染症の患者を新入院させる感染症病床を維持するため、感染症指定医療機関運営費を補助する。	県内の感染症指定医療機関は、新型コロナウイルス感染症重点医療機関に対する病床確保補助事業の対象となっていたことから、令和２年度から本事業による補助を実施していなかった。令和５年度においては、コロナウイルス感染症にかかる病床確保補助事業が終了したため、感染症指定医療機関８機関に対し運営費補助を実施した。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	行政において、対策、体制の担い手となる医療機関の医療提供体制現場状況を詳細に把握することが難しい。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	県内感染症指定医療機関と本事業の補助内容を共有し、必要な補助について事業計画の調整を行うことで、実情に応じた補助を実施し、より費用対効果の大きな体制強化を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施　策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○保健所の強化・効率化等
主な取組	新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所体制の強化		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・保健所業務である新興・再興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能性者の感染確認を迅速に行うため保健所の強化に取り組むとともに、新たなシステム構築などデジタル化を推進し、保健所業務の効率化を図ります。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所体制の強化を図る。	県	積極的疫学調査のための人材育成		
		積極的疫学調査等の研修の受講者数（累計）		
		20名	20名（40名）	20名（60名）

担当部課【連絡先】	保健医療介護部感染症対策課　【　098-866-2013　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	—		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
—	—		

予算事業名	沖縄県IHEAT事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
各省計上	補助	5,766

令和5年度活動内容

新興・再興感染症陽性者確認と積極的疫学調査を迅速に行うため保健所体制の強化に取り組んだ。

令和6年度活動計画

新興・再興感染症陽性者確認と積極的疫学調査を迅速に行うため保健所体制の強化に取り組む。

活動指標名	積極的疫学調査等の研修の受講者数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		感染症の実地疫学調査に関して、最新の科学的知見に基づいた専門的な知識や技術を習得するために国立感染症研究所が実施した講習を関係機関に案内し、14名が受講した。
	名	17名	14名	20名（40名）	70.0%	やや遅れ	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

積極的疫学調査等研修会は、コロナウィルス感染症に対応するため国等による主催で頻回に実施されており、すでに受講を終えた県職員も多く、令和５年度１回目の講習は８名の受講にとどまった。
その後も未受講者掘り起こしのため受講の呼びかけを続け、第２回目は６名が受講し、合計14名の職員が、最新の科学的知見に基づいた知識や技術を習得した。

（2）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
達成割合の向上に向けて、保健所等と意見交換を行い、改善策を模索する。	希望者が受講しやすい環境づくりのため、管理者に対してもスケジュールを共有し、説明を行い理解を得られるよう努めた。 また、コロナ対応で休止していた業務の再開により、受講時間の確保が難しい保健所に対して、国立感染症研究所と調整を行い講習を修了できるよう受講者を支援した。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	県で感染対策に従事している県職員に対し受講の案内をしたが、前年度までに受講を終えている職員も多かったことから、受講希望者が想定を下回った。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	案内の対象を、IHEAT登録者、今後感染症対策に従事することが見込まれる県職員と広げ、達成率の向上に努める。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施　策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○保健所の強化・効率化等
主な取組	新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所業務の効率化		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・保健所業務である新興・再興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能性者の感染確認を迅速に行うため保健所の強化に取り組むとともに、新たなシステム構築などデジタル化を推進し、保健所業務の効率化を図ります。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所体制の強化を図る。	県	積極的疫学調査等の保健所業務におけるデジタル化推進		
		新興・再興感染症感染拡大を想定した支援システム利用訓練の開催（全体演習回数）（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）

担当部課【連絡先】	保健医療介護部感染症対策課　【　098-866-2013　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	―

主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
―	―		

予算事業名	―

R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
―	―	

令和5年度活動内容

新興・再新興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能者の感染確認を迅速に行うため、デジタル化を推進し、保健所業務の効率化を図った。

令和6年度活動計画

新興・再新興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能者の感染確認を迅速に行うため、デジタル化を推進し、保健所業務の効率化を図る。

活動指標名	新興・再興感染症感染拡大を想定した支援システム利用訓練の開催（全体演習回数）（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		新型コロナ感染症の陽性者に交付する療養証明書発行業務の効率化について、ＲＰＡ導入のための動作訓練を実施した。
	回	1回	1回	１回（２回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

訓練の結果、令和５年度も引き続き療養証明書発行業務にＲＰＡを導入し、事務作業の効率化・省力化に繋がった。

様式１（主な取組）

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○今後も、県民ニーズの変化に対応できるよう取り組んでいく。	各保健所で異なっていた様式を統一し、作業要件の簡略化を行うことで、ＲＰＡの円滑な導入を図った。

３　取組の検証（Check）

類型	内容
③ 他地域等との比較（内部要因）	新型コロナ感染症の対応が県民から求められている状況下で実際の作業を効率化するために実施していた訓練だったため、新型コロナウィルスの５類位置付け変更後は、実施効果が薄れている。

４　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	保健所等関係機関との意見交換を行い、感染症拡大時に必要とされる業務を洗い出し、その業務の効率化に対応した訓練内容への更新を検討する。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-エ	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化	施　策	②新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
			施策の小項目名	○保健所の強化・効率化等
主な取組	感染症情報の収集・分析を行う「感染症研究センター（仮）」の設置		対応する成果指標	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数
施策の方向	・保健所業務である新興・再興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能性者の感染確認を迅速に行うため保健所の強化に取り組むとともに、新たなシステム構築などデジタル化を推進し、保健所業務の効率化を図ります。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
感染症の早期探知やリスク評価、予防策等の検討を継続的に担う体制の整備、公衆衛生人材を育成する拠点の確保、沖縄県感染症ネットワーク（仮称）の構築等に取り組む。	県	感染症情報の収集・分析を行う「感染症研究センター（仮）」の設置検討		
		感染症情報の収集・分析を行う「感染症研究センター（仮）」の設置検討に向けた可能性調査等		
		情報収集	情報収集に基づく検討	具体的な施策の展開

担当部課【連絡先】	保健医療介護部感染症対策課　【　098-866-2013　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	感染症研究センター事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
各省計上	直接実施	―	53,041

予算事業名	感染症研究センター事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
各省計上	直接実施	53,072

令和5年度活動内容

病原体からこれまで以上の感染症情報の収集・分析が可能となる、次世代シーケンサー（NGS）を用いた新型コロナウイルス等の病原体解析を実施した。

令和6年度活動計画

NGSを用いた病原体解析により、感染症情報を収集・分析を継続し、有事に備え多検体を処理できる核酸抽出装置を導入し、検査体制を強化する。

活動指標名	感染症情報の収集・分析を行う「感染症研究センター（仮）」の設置検討に向けた可能性調査等		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	－	－	0	情報収集に基づく検討	0.0%	順調	令和５年４月１日に、沖縄県衛生環境研究所内に「感染症研究センター」が設置された。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

感染症研究センター設置に向けた必要な情報を収集し、調査等に係る予算要求を行い、新規事業として「感染症研究センター事業」を予算化、実際に事業を行った。

（2）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
引き続き次世代シーケンサー（NGS）を用いた高度技術による病原体解析を実施し、更なる体制強化を図る。	NGSを用いた新型コロナウイルスの病原体解析を実施した。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	公衆衛生人材を育成するための方法や手段が定められていない。新型コロナウイルス以外に、高度な病原体解析のかかる実施項目を設定する必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	国立感染症研究所が研修を展開するFETP（実地疫学専門家養成コース）拠点と連携し、公衆衛生人材の育成を進める。高度な病原体解析が必要な項目について、中長期的な視野で目標を設定する。